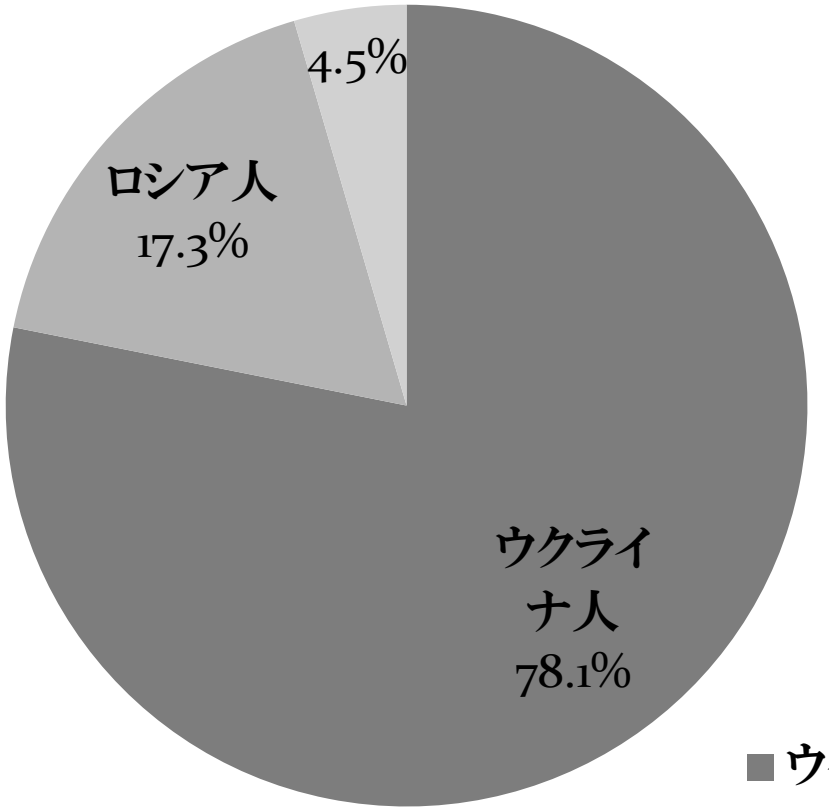
ウクライナ情勢について

上智大学 外国語学部 ロシア語学科　上野 俊彦

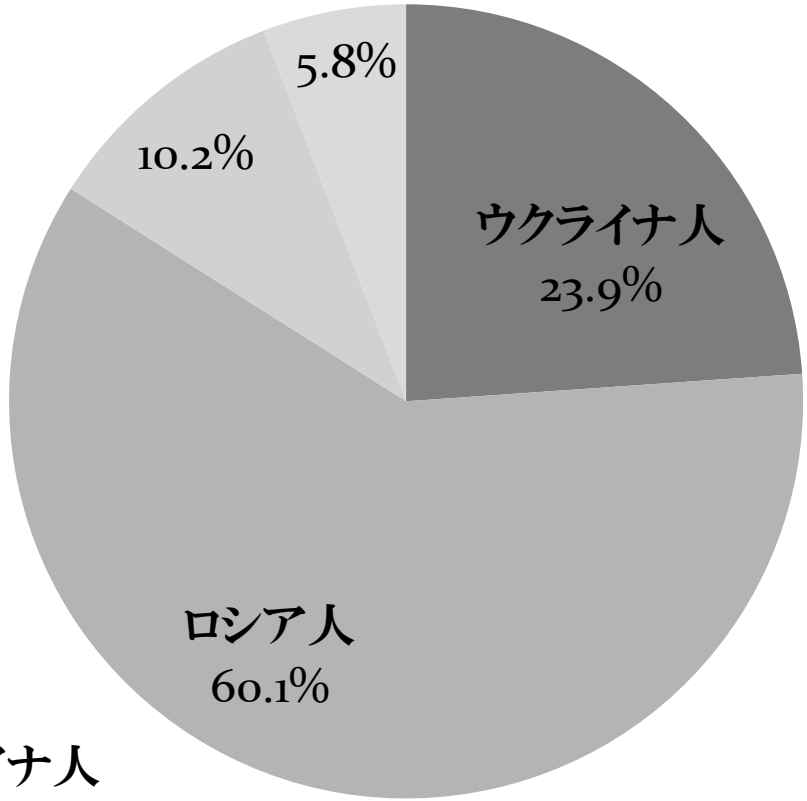
1 多極共存型・多文化共生型国家ウクライナ

- 民族構成
  - ウクライナ総人口　45,469,800人（2013）
    - ウクライナ人　67.5%（2001）/78.1%（2013）
    - ロシア人　29.6%（2001）/17.3%（2013）
  - クリミア自治共和国総人口　2,413,228人（2013）
    - ウクライナ人　23.9%（2001）
    - ロシア人　60.1%（2001）
    - クリミア・タタール人　10.2%（2001）
- 言語
  - 母語をロシア語とする住民が過半数を超える地域（2001）
    - ルハーンシク（ルガンスク）州68.8%　ドネーツィク（ドネツク）州74.9%　クリミア自治共和国77.0%
  - 母語をロシア語とする住民が40%を超える地域（2001）
    - ハリキウ（ハリコフ）州44.3%　ザポリージャ（ザポロージェ）州48.2%　オデーサ（オデッサ）州41.9%
- 宗教
  - 西部：カトリック　東部：正教

ウクライナの民族構成(2001年)



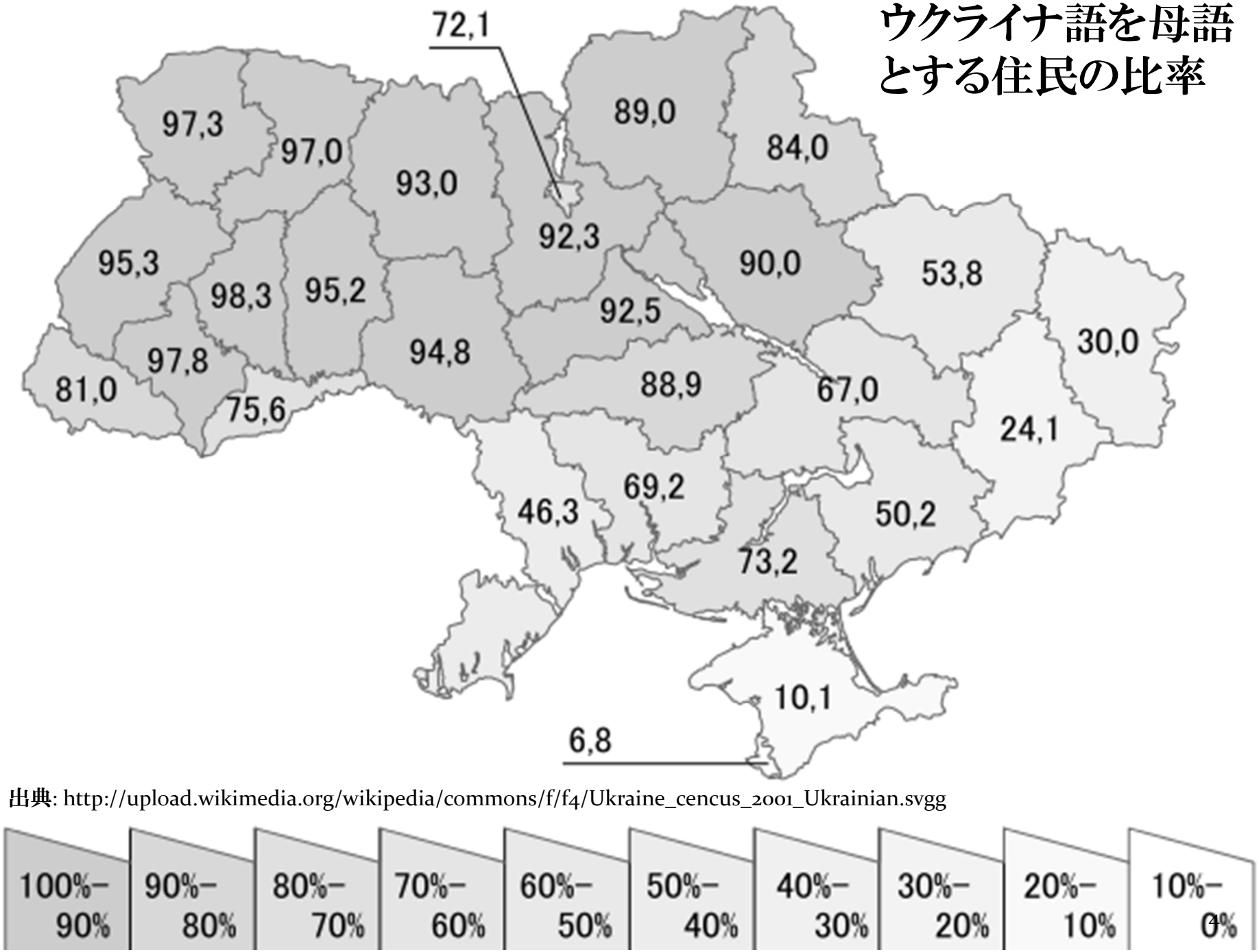
クリミアの民族構成(2001年)



- ウクライナ人
- ロシア人
- クリミア・タタール人
- その他

出典：2001年ウクライナ国勢調査

ウクライナ語を母語とする住民の比率



出典: http://upload.wikimedia.org/wikipedia/commons/f/f4/Ukraine_cencus_2001_Ukrainian.svgg

出典:2001年ウクライナ国勢調査
(2014年2月28日作成)

上段：ウクライナ語母語話者の比率
下段：ロシア語母語話者の比率

青緑：ロシア語母語話者が絶対多数である地域
黄緑：ウクライナ語母語話者が相対多数である地域
黄色：ウクライナ語母語話者が絶対多数である地域
出典：http://upload.wikimedia.org/wikipedia/commons/e/e3/Languages_in_Ukraine2.png?uselang=ru

上段：ロシア語母語話者の比率
中段：ウクライナ語・ロシア語混合話者の比率
下段：ウクライナ語母語話者の比率

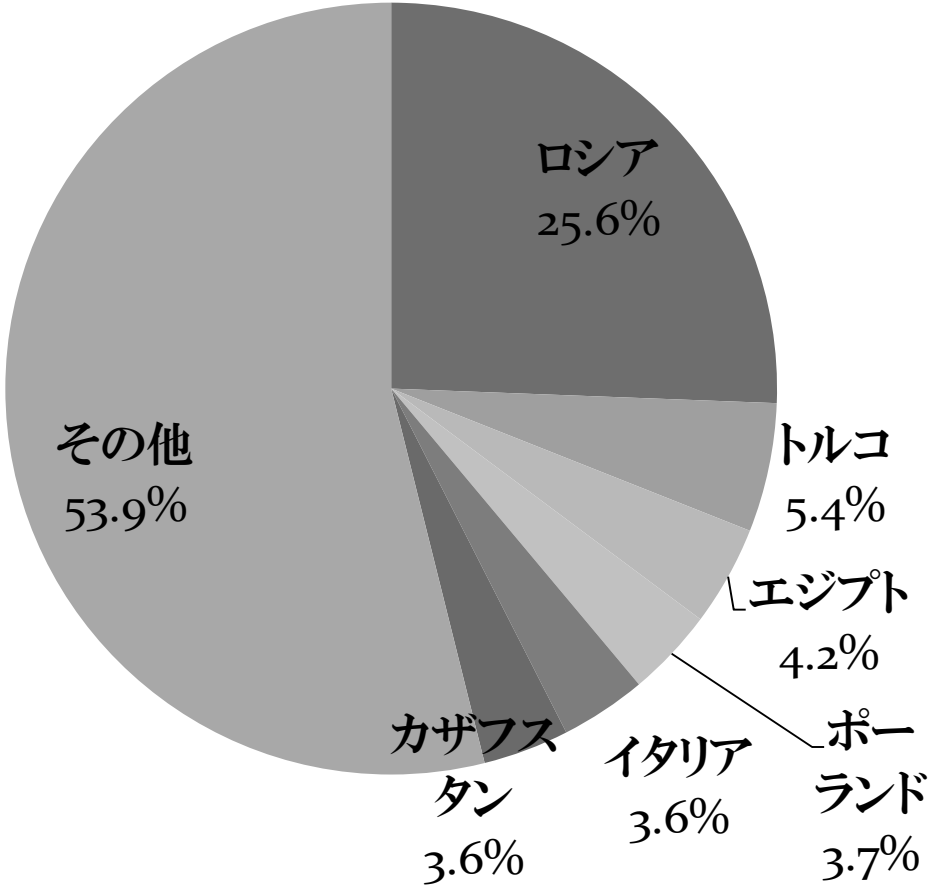
青緑：ロシア語使用者が絶対多数である地域
黄緑：ロシア語使用者が相対多数である地域
黄色：ウクライナ語使用者が絶対多数である地域
出典：http://upload.wikimedia.org/wikipedia/ru/f/f6/Languages_in_Ukraine.PNG

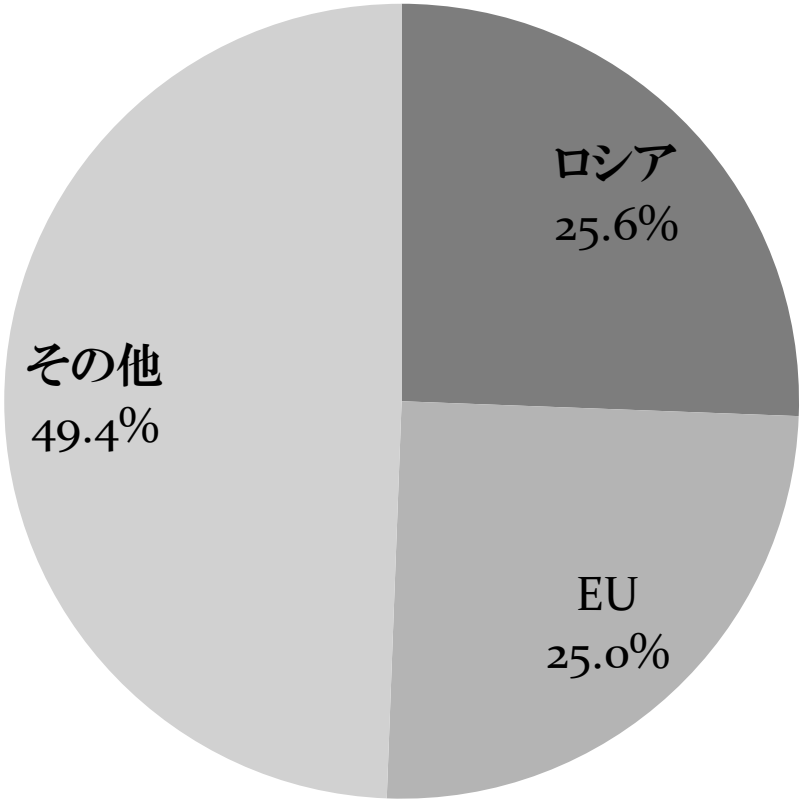
*Kiev International Institute of Sociology
Київський Міжнародний Інститут Соціології

2　ウクライナ経済

- 貿易
  - 輸出　　ロシア、EUともに約25%
  - 輸入　　ロシア、EUともに約30%
- ロシアとの関係
  - 東部ウクライナのハリキウ、ドニプロペトローウシク、ドネーツィクなどの都市を中心とする工業地帯は、南ロシアのロストフ・ナ・ダヌー、ヴォルゴグラートなどの都市を中心とする工業地帯と一体となっており、投資の多くがロシアからのものであり、製品の多くをロシアへ輸出している。
  - 西部ウクライナは主として農業地帯。

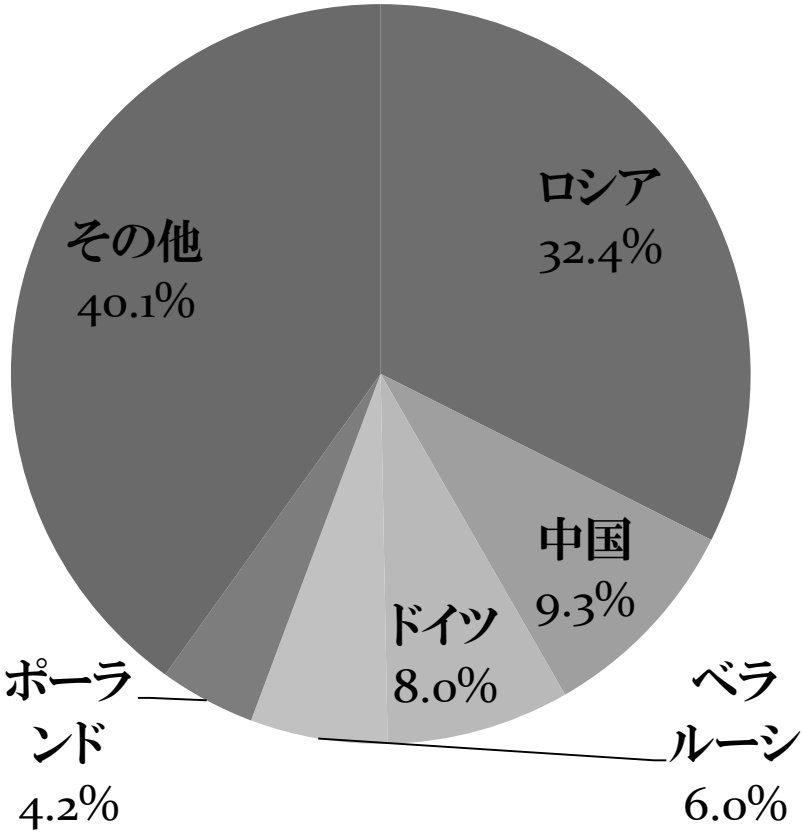
ウクライナの主要輸出相手国（2012年）

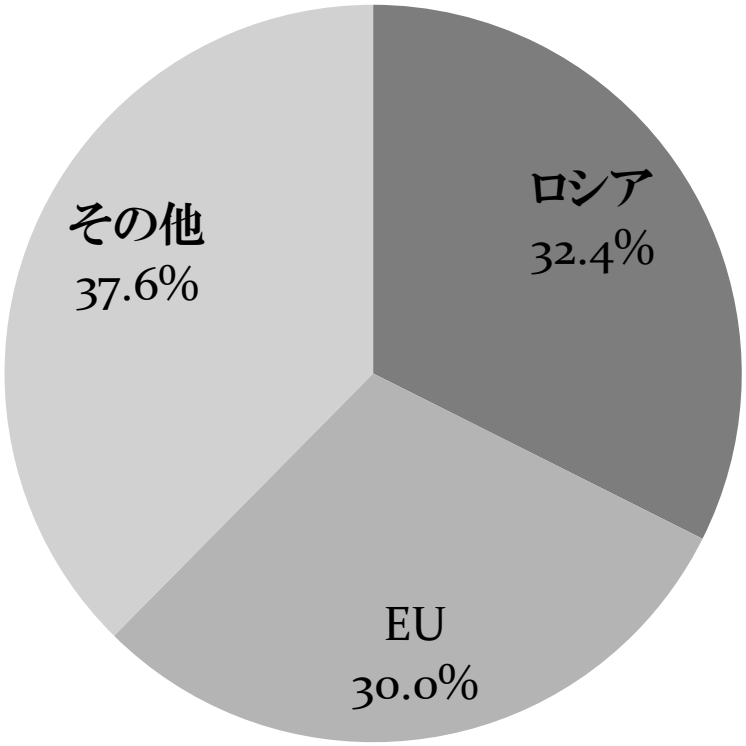




輸出相手国としてはロシアが第1位で全体の4分の1を占める。EU全体でロシアと同等。

ウクライナの主要輸入相手国（2012年）



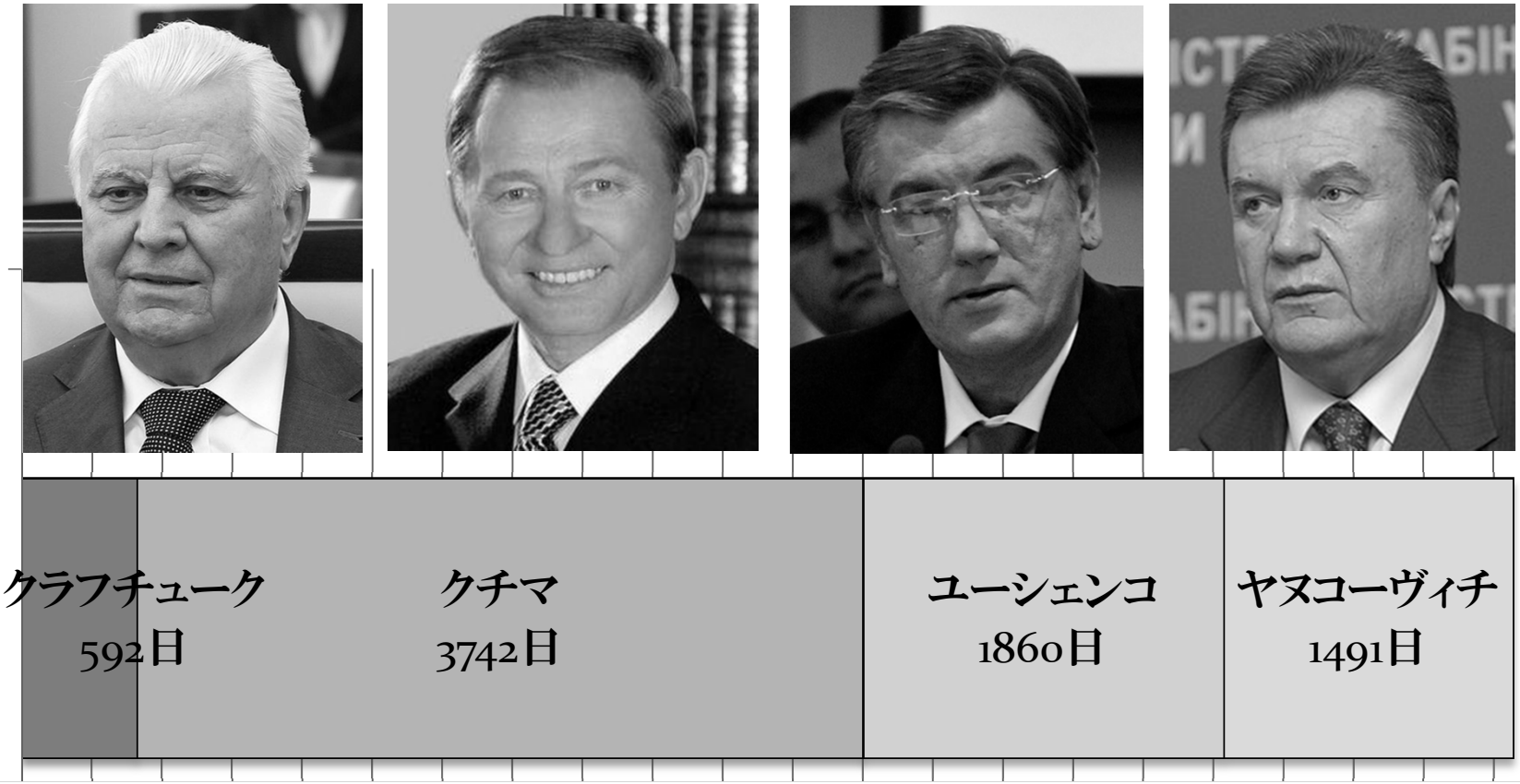


輸入相手国としてもロシアが第1位、EU全体でロシアと同等というのも輸出と同様。

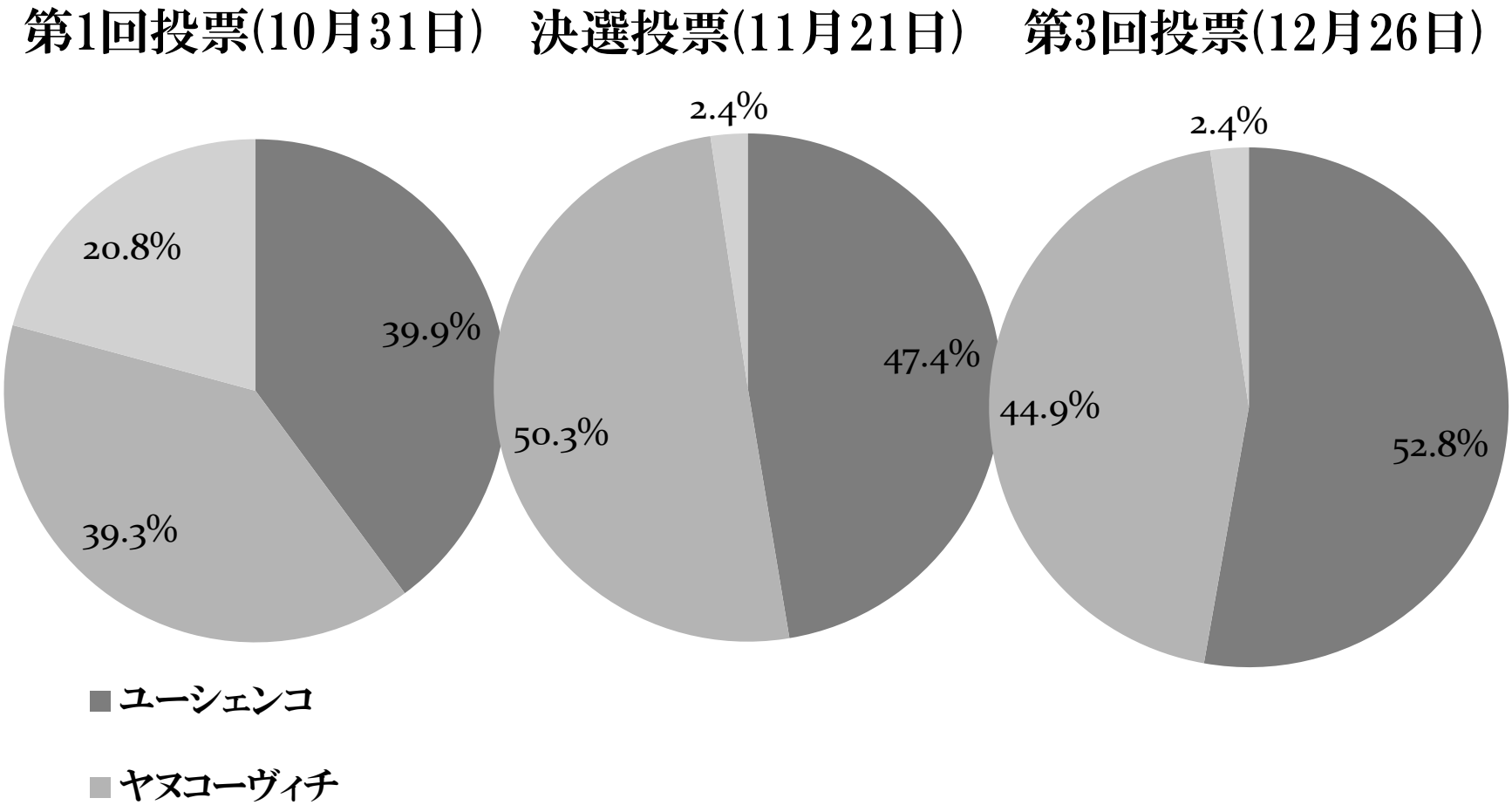
3　不安定な政治

- エリートの分裂
  - 大統領選では、初代大統領クラフチューク選出時（1994年）以降、つねに決選投票までもつれ込んでいる。
  - 議会でも単独過半数を獲得した政党はない。
    - 政党数が非常に多く（2012年11月時点での登録政党数は2001）、離合集散も甚だしい。
  - 2004年「オレンジ革命」以降、不安定な政治が続いている。
- 地域対立（ウクライナ人とロシア人の対立）
  - 西欧・中欧に親近感を持つ西部ウクライナのウクライナ人と、ロシアに親近感を持ち、ロシアとの経済関係の中で生活する東南部ウクライナのロシア人との対立。

歴代のウクライナ大統領

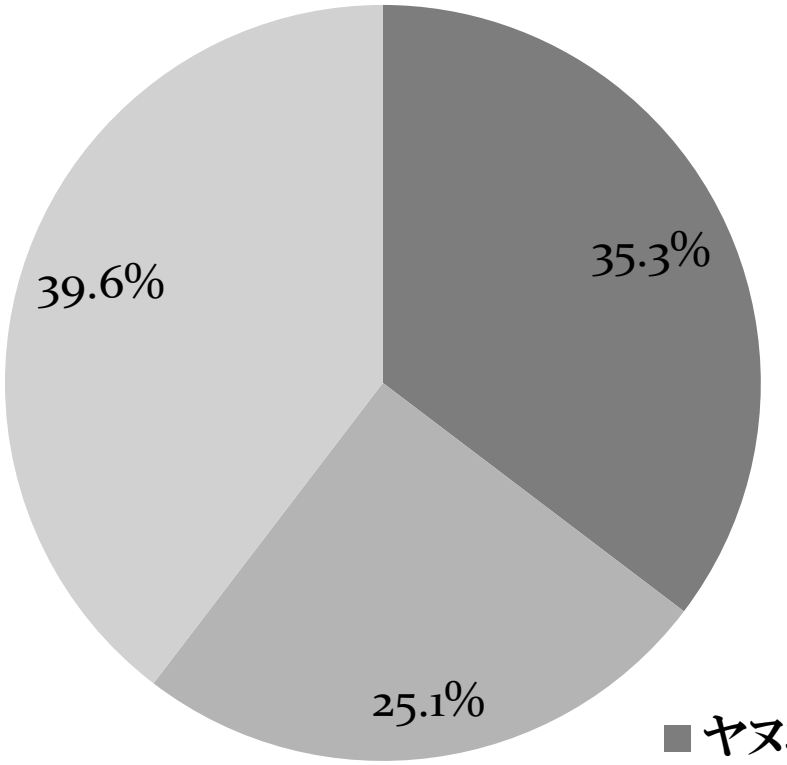


大統領選挙（2004年）

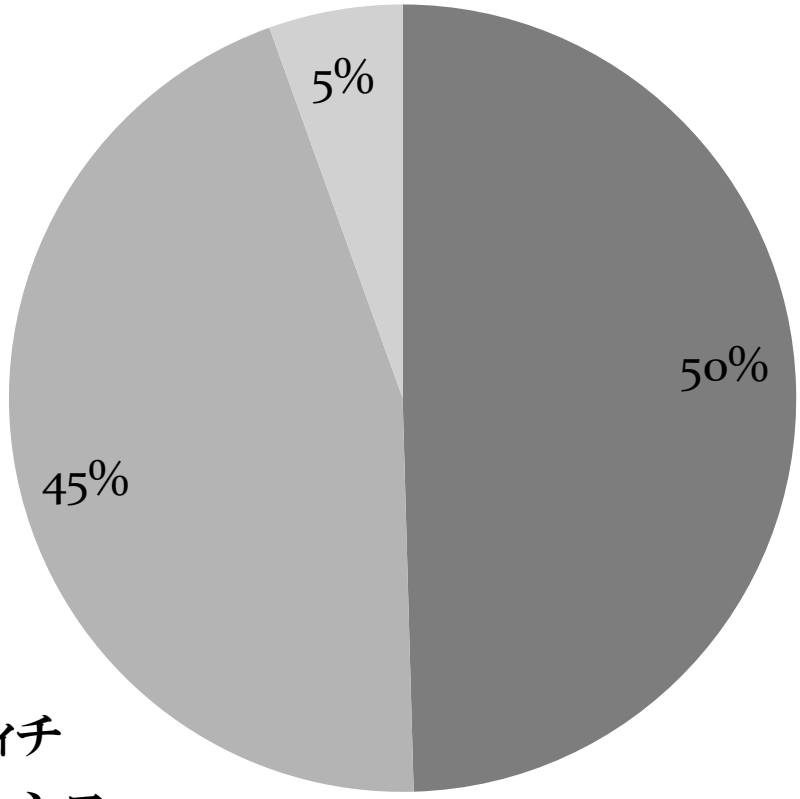

第1回投票(10月31日)
決選投票(11月21日)
第3回投票(12月26日)
20.8%
39.9%
39.3%
2.4%
47.4%
50.3%
2.4%
44.9%
52.8%
ユーシェンコ
ヤヌコーヴィチ

大統領選挙（2010年）

第1回投票（1月17日）



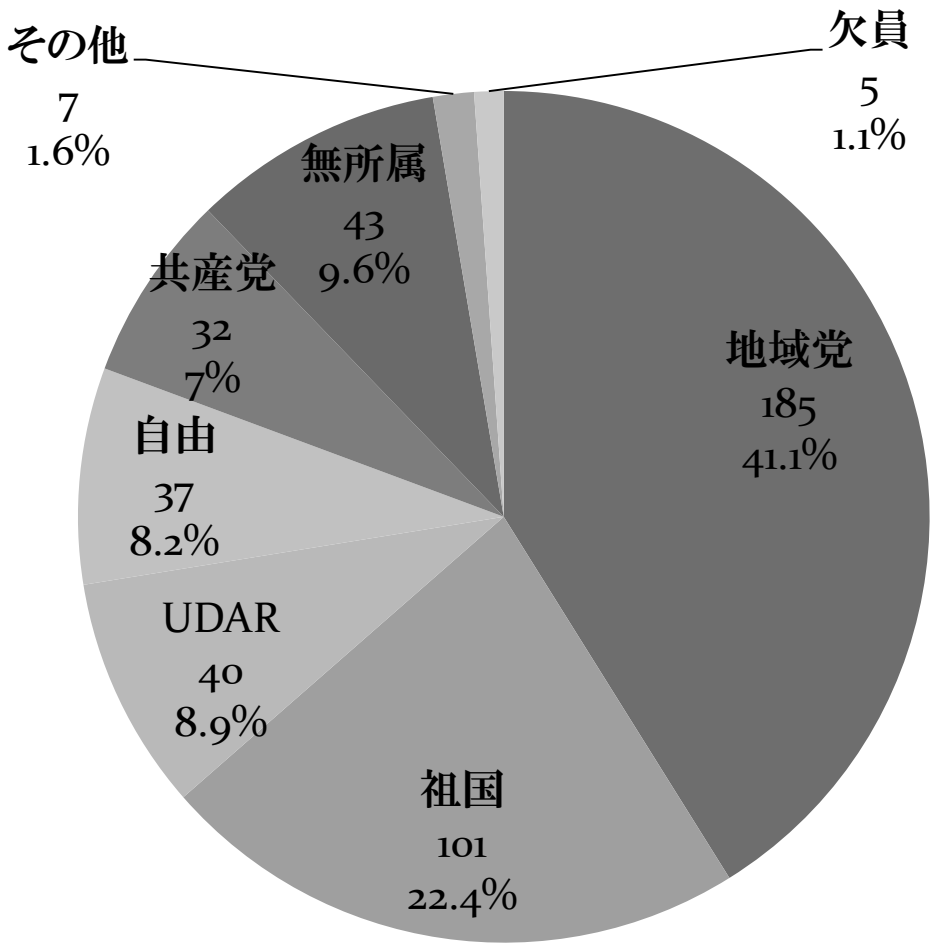
決選投票（2月7日）



ヤヌコーヴィチ

ティモシェーンコ

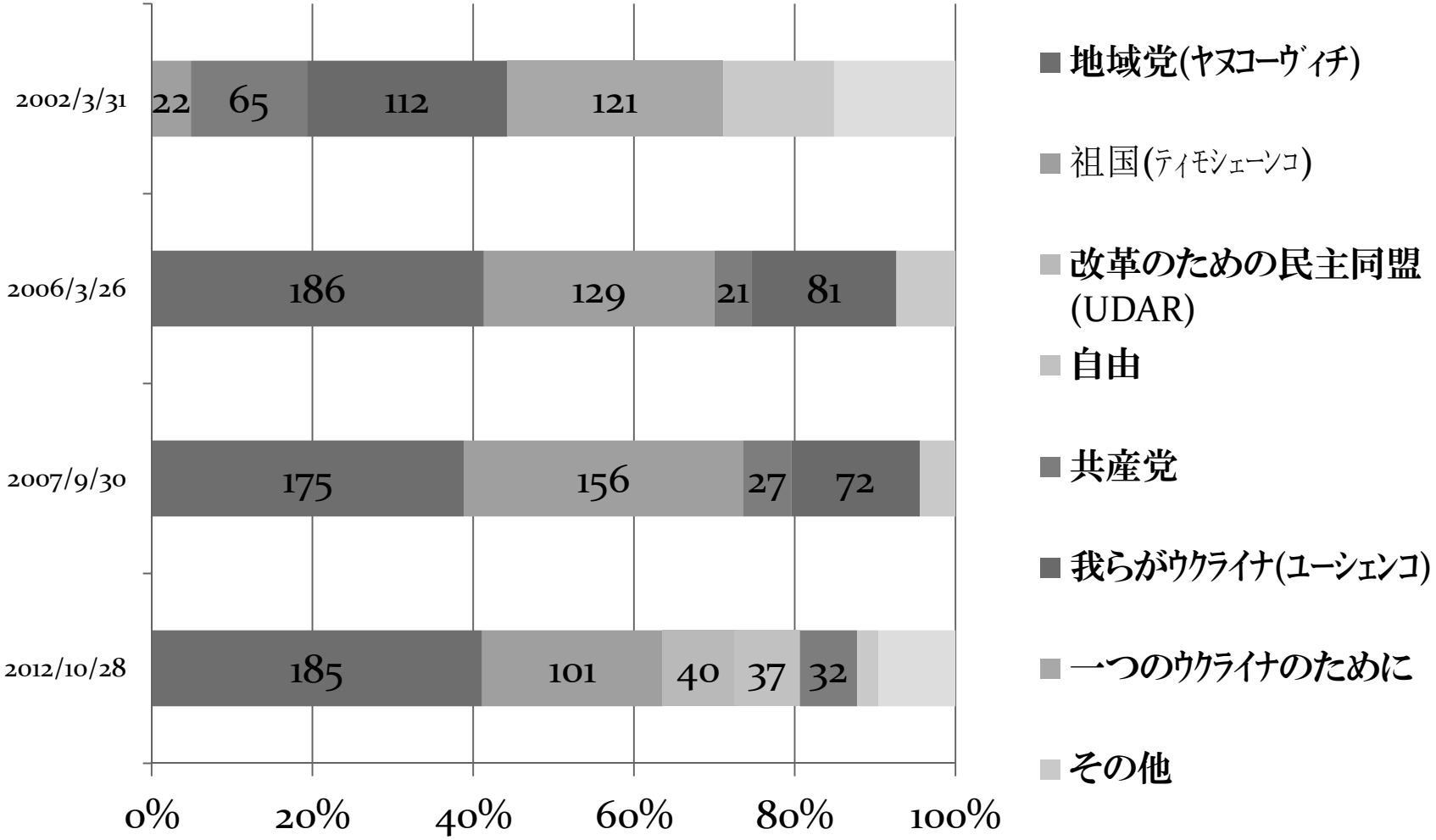
ウクライナ最高会議政党別議席数（2012年）



ヤヌコーヴィチ大統領の与党地域党が相対多数の議席占有率41%。第二党「祖国」は獄中にいたティモシェーンコが党首。2004年の「オレンジ革命」の中心人物だったユーシェンコを党首とする「我らがウクライナ」は得票率1.11%で議席を有していない。

2014年3月現在、地域党122議席、祖国88、UDAR42、自由36、共産党32、「経済発展」グループ36、「主権ヨーロッパ・ウクライナ」グループ36、無所属57となっている。

ウクライナ最高会議政党別議席数（2002～12年）



各政党・政治団体の特徴

- 地域党
  - 安定、均衡
- 「祖国」Батьківщина (Fatherland)
  - EU加盟、ウクライナ語の役割の強化、腐敗撲滅
- UDAR（改革のための民主同盟）
  - 穏健改革
- 自由
  - 過激な民族主義、反ロシア、ウクライナ語単一言語主義、国籍付与条件の強化（ウクライナ語、歴史認識）
- 右派セクター
  - 武闘派民族主義、反ロシア、反ユダヤ主義、ナチズムへの共感

暫定政権首脳部の経歴

- Арсеній Петрович Яценюк (Arseny Petrovich Yatsenyuk)

1974年5月22日北ブコヴィナのチェルニフツィ（現チェルニウツィー）生まれ。96年チェルニウツィー国立大学法学部卒業。98年1月～01年11月«Райффайзен банк Аваль» (Raiffeisen Bank Aval')コンサルタント、のち副社長。01年キエフ国立貿易経済大学チェルニウツィー校卒業。01年11月21日～03年1月クリミア自治共和国経済大臣。03年1月～05年2月ウクライナ国立銀行第1副議長。05年3月9日オデッサ州庁第一副議長。05年9月27日～06年8月8日経済大臣。06年9月20日大統領第一副官房長。07年3月21日～12月18日外務大臣。07年11月23日最高会議議員。07年12月4日～08年11月12日最高会議議長。09年11月«Фронт Змін» (Front for Change)党首。10年1月17日大統領選得票率6.96%で落選。12年6月«Батьківщина»との合同ブロック«Об'єднана опозиція»(United Oposition)リーダーに就任。12年10月28日最高会議議員に当選。13年6月15日«Батьківщина»政治評議会議長。2014年2月27日暫定政府首相。旧ユーシェンコ派。

- Олександр Валентинович Турчинов (Oleksandr Valentinovich Turchinov)

1964年3月31日ドニエプロペトローフスク（現ドニプロペトローウシク）生まれ。86年ドニエプロペトローフスク冶金工業大学卒業。87～90共産主義青年同盟地区委書記、ソ連共産党ドニエプロペトロフスク州党委煽動宣伝部長。90～91年«Уна-пресс АПН»（Una-press APN）ウクライナ支局編集長。91年国際関係・経済・政治・法研究所長。92年ドニプロペトローウシク州庁産業脱国家化・反独占委議長。93年首相経済担当顧問、ウクライナ企業家・経営者同盟議長。93年9月経済改革研究所理事長。94年クチマ支持の«Громаді» （Community）党創設に参加。98年3月29日最高会議議員当選。99年«Батьківщина» (Fatherland)副党首。05年2月4日～05年9月8日保安庁長官。06年3月26日最高会議議員当選。07年5月23日国家安全保障国防会議議長。07年9月30日最高会議議員当選。07年12月19日～10年3月11日第一副首相。14年2月22日最高会議議長。14年2月23日大統領代行。旧クチマ派。

有力な大統領候補

- Юлія Володимирівна Тимошенко (Yuliya Volodimirivna Timoshenko)

1960年11月27日ドニエプロペトローフスク（現ドニプロペトローウシク）生まれ。84年ドニエプロペトローフスク大学経済学部卒業。91年「ウクライナ・ガソリン」社長。95年「ウクライナ統一エネルギーシステム」社長。同年キロヴォフラート州の選挙区から最高会議議員に当選。99年«Батьківщина» (Fatherland)党首。99年12月30日～2001年2月9日燃料エネルギーコンプレクス問題担当副首相。04年大統領選でユーシェンコとブロック創設。05年2月4日～9月首相。07年12月18日～10年3月11日首相。11年8月5日ロシアとの天然ガス契約締結での越権行為の罪で逮捕、10月11日自由剥奪7年の実刑判決。13年4月30日欧州人権裁判所、ティモシェーンコに対する刑罰は恣意的と決定。14年2月22日最高会議、釈放を決定。

- Петро Олексійович Порошенко（Petro Oleksiiovich Poloshenko)

1965年9月26日オデッサ州ボルゴロド生まれ。89年キエフ国立大学国際関係国際法学部卒業。90年～チョコレート・菓子製造販売業に従事。その後、自動車製造業、放送業界にも進出し、2014年3月のForbes誌により、ウクライナ長者番付の第7位とされた。98 ～05年、06～07年 最高会議議員。05年2～9月国家安全保障国防会議事務局長。07～12年ウクライナ国立銀行議長。09～10年外相。12年3～11月経済発展貿易相。政治的には、当初、社会民主党に属してクチマ派の一角を形成していたが、のちにユーシェンコ率いる「我らがウクライナ」に加わり、04年のオレンジ革命の指導者の一人となった。旧クチマ派。旧ユーシェンコ派。

4　ヤヌコーヴィチ政権の崩壊からクリミア編入まで

2013年

- 11月29日　ウクライナ・EU「連合協定」調印見送り。
  - EUは連合協定を結ぶことにより、加盟希望国の政治・経済・貿易・人権改革を図り、これと引き換えに、加盟希望国はEU市場との関税の部分的または全面的な撤廃および財政的・技術的支援を与えられる。
- 12月17日　ロシア対ウクライナ支援を決定。
  - ロシア、ウクライナに対し150億ドルの財政支援、天然ガス価格の約3分の1引き下げを決定。

2014年

- 2月21日　ヤヌコーヴィチ、野党との「合意」に署名。
  - ヤヌコーヴィチ大統領、EUの仲介により野党3党代表と会談し、大統領選挙の前倒しや挙国一致政府の発足、大統領権限を制限する憲法改正などの「合意」に署名。
- 2月23日　ヤヌコーヴィチ政権崩壊。
- 3月1日　ロシア上院、クリミアにおける軍使用を承認。
- 3月16日　クリミアで独立・対ロシア併合についての住民投票。
- 3月17日　クリミア自治共和国とセヴァストーポリ市のロシア連邦への編入についての条約の調印。

5　2012年7月3日付「国家言語政策基本法」をめぐる問題

- 2012年7月3日付「国家言語政策基本法」は、各州において住民の10%以上を占めるマイノリティがいる場合、マイノリティの言語を当該州内の第二公用語とするという内容の規定（第7条）を含む。
- 2014年2月23日成立の暫定政権が2012年7月3日付「国家言語政策基本法」の効力を停止。
- 暫定政権はウクライナ語の役割を強化するとの主張の「祖国」が中心となっているが、「自由」、武闘派民族主義グループ「右派セクター」などウクライナ語単一言語主義派を含んでおり、前政権を武力により打倒したことおよび言語政策がロシア系住民の暫定政権に対する不信を引き起こしている。
- EUおよび米国はウクライナ語単一言語主義を廃棄するよう暫定政権に求めている。